

Q. どのような調達方針が望ましいのか？



# カカオの調達方針事例（森林への言及）

カカオ豆生産地域における森林および多様な生態系の保全に努めます。

アグロフォレストリーを含むカカオ豆生産地域における生態系および天然林を含む環境上重要な地域の保全を目指します。

すべての調達先において、GPSマッピングなどによる農園の実態把握を行い、森林の保護・回復につとめ、森林減少ゼロを目指します。

森林破壊の実態把握と是正、農家への教育や支援等を通じ、サプライチェーン上の森林破壊の防止と森林の保全を目指します。

The CFI is a unique public-private partnership that aims to achieve zero deforestation and restore degraded forests in the cocoa supply chain. It seeks to address the main drivers of deforestation in Ghana's cocoa sector, such as forest degradation and expansion of cocoa farms into protected areas. The CFI targets at eliminating illegal deforestation from Ghana's cocoa supply chain and restoring degraded forests.

Commits to ending deforestation, preserving and restoring forest areas and natural ecosystems, and maintaining biodiversity.

環境保全や、生物多様性・生態系保全など、地球環境に配慮している。

WWF

森林破壊ゼロ

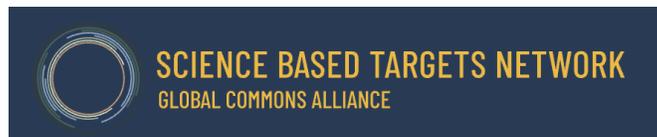
(deforestation free cocoa)

# 森林破壊フリーとは？

- 森林破壊は生物多様性損失と気候危機の大きな要因
- 森林をこれ以上農地に転換することはNG
- EUDR、ネイチャーSBT（SBTN）、TNFD、CDP、SBTi-FLAGなどの国際的な法規制、枠組みでは森林破壊フリーは最低限の要求

## では、森林破壊フリーとは何か？

例) 保護区や国立公園内のカカオをなくす→違法カカオの排除にはなるが、これは森林破壊フリーと同義か？



# 森林破壊フリーとは？（EUDRによる規制）

（出典：<https://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/PDF/?uri=CELEX:32023R1115>）

## Article 2

### Definitions

For the purposes of this Regulation, the following definitions apply:

- (1) ‘relevant commodities’ means cattle, cocoa, coffee, oil palm, rubber, soya and wood;
- (2) ‘relevant products’ means products listed in Annex I that contain, have been fed with or have been made using relevant commodities;
- (3) ‘deforestation’ means the conversion of forest to agricultural use, whether human-induced or not;
- (4) ‘forest’ means land spanning more than 0,5 hectares with trees higher than 5 metres and a canopy cover of more than 10 %, or trees able to reach those thresholds in situ, excluding land that is predominantly under agricultural or urban land use;
- (13) ‘deforestation-free’ means:
  - (a) that the relevant products contain, have been fed with or have been made using, relevant commodities that were produced on land that has not been subject to deforestation after 31 December, 2020; and

# 森林破壊フリーとは？（EUDRによる規制）

（出典：<https://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/PDF/?uri=CELEX:32023R1115>）

## Article 2

### Definitions

For the purp

(1) 'relevant' means:

- **森林破壊とは森林を農地（含カカオ）に転換すること**

(2) 'relevant' means:

- **森林の定義：樹高5メートル超、樹冠被覆率10%の0.5 ha以上の土地**

※上記定義で残存森林を調査した結果、ガーナの 카카오 生産地帯で2020年12月時点で残存する森林のうち半分以上は保護区外に

(3) 'deforestation' means:

(4) 'forest' means:

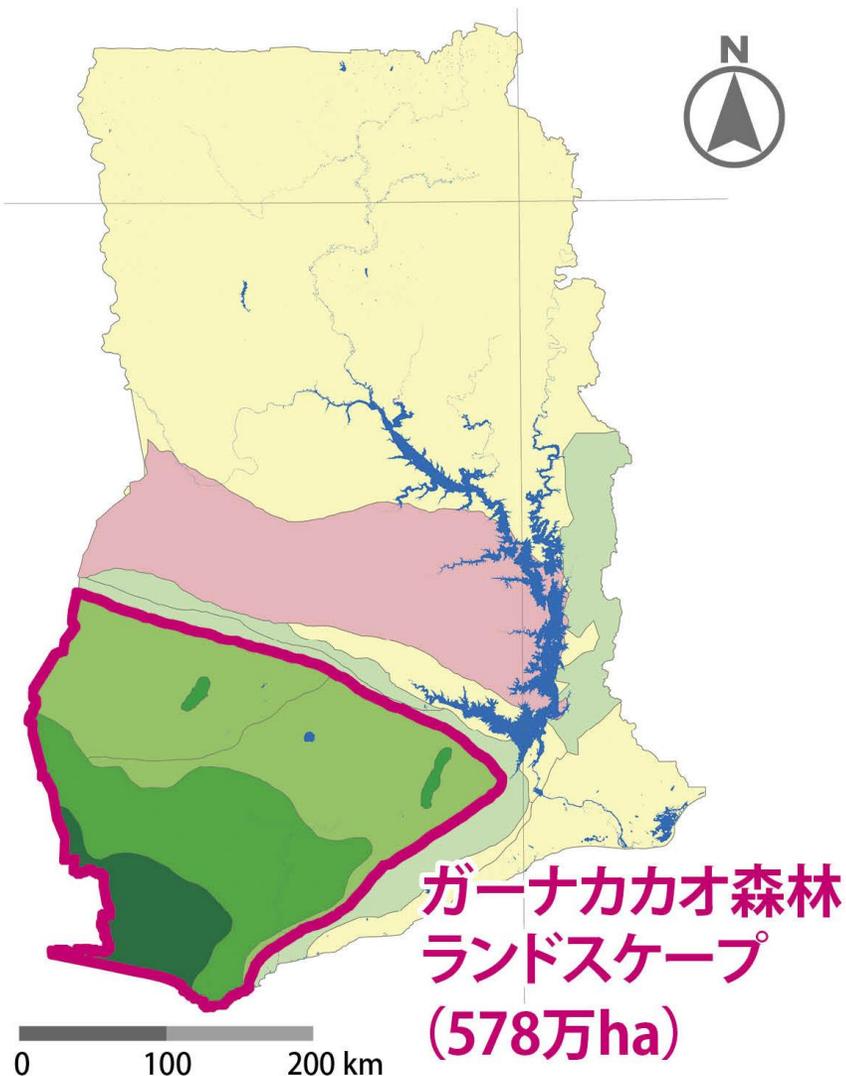
- **森林破壊フリー：2020年12月31日以降に農地に転換された森林でないこと**

(13) 'deforestation-free' means:

(a) that the relevant products contain, have been fed with or have been made using, relevant commodities that were produced on land that has not been subject to deforestation after 31 December, 2020; and

# ガーナの生態系区分とカカオ森林ランドスケープ

## ガーナの生態系区分



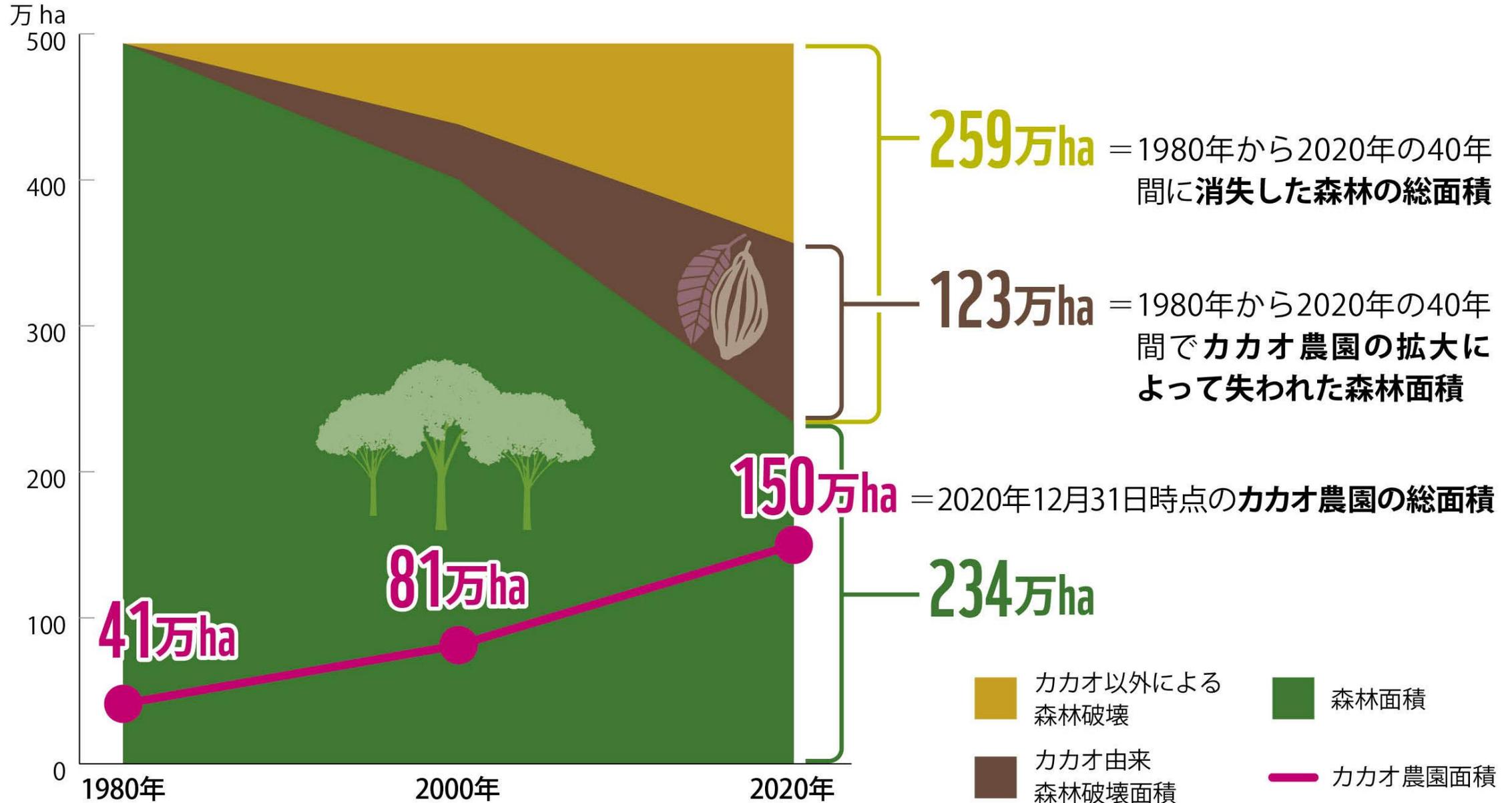
- ガーナは気候条件に基づき、南部の森林（緑部分）と北部のサバンナ（黄色）、その間に位置するトランジション・ゾーン（ピンク）と呼ばれる3つの生態系ゾーンに大別される
- ガーナ国内でカカオ栽培に適した土地は「ガーナカカオ森林ランドスケープ」とも呼ばれ、湿潤常緑樹林および湿潤半落葉樹林の境界によって定義されている（濃ピンク枠囲み部分）
- 同ランドスケープの面積は578万haで、5つの行政区域（Ashanti、Brong Ahafo、Central、Eastern、Western）と約92の地区を含む

## 凡例

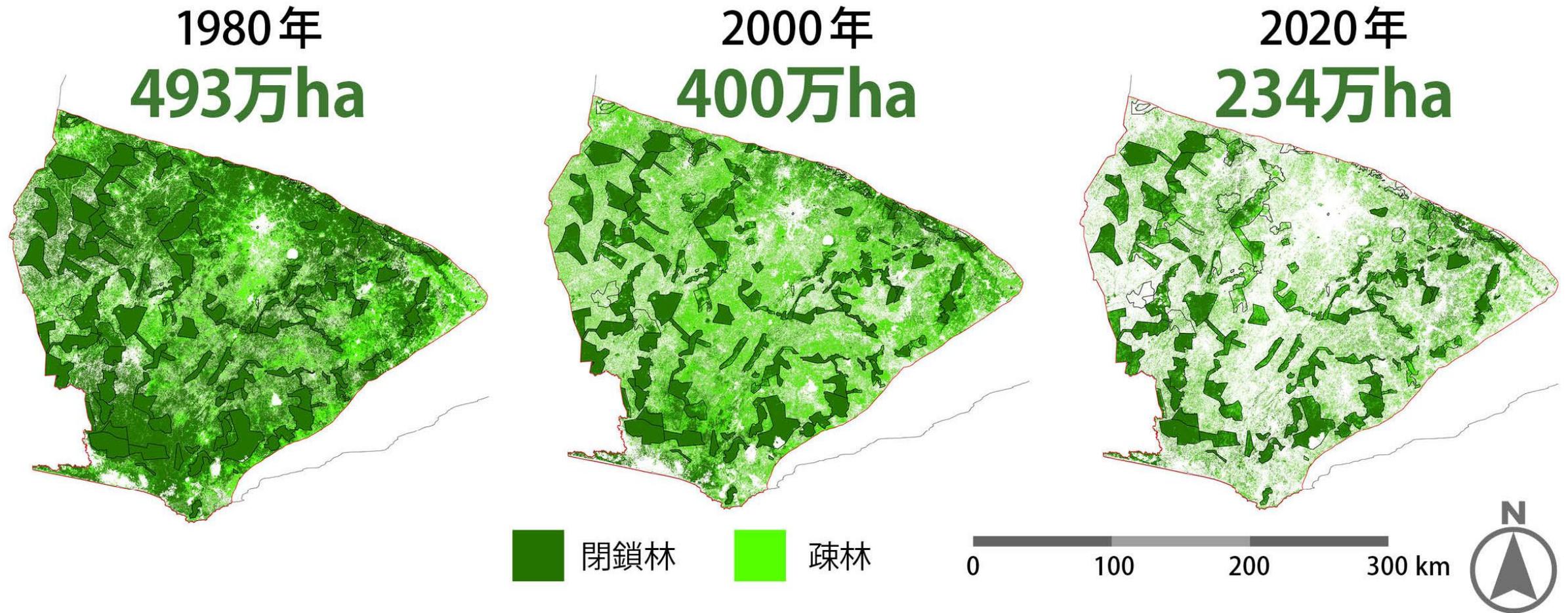
### Legend

Water bodies	Dry semideciduous	Upland evergreen
Savannah	Moist semideciduous	Wet evergreen
Transition zone	Moist evergreen	Ghana Cocoa Forest Landscape (GCFL)

# カカオ森林ランドスケープにおける森林とカカオ面積の推移



# カカオ森林ランドスケープにおける森林面積の推移



**40年間でー53%  
259万haの森林が消失**

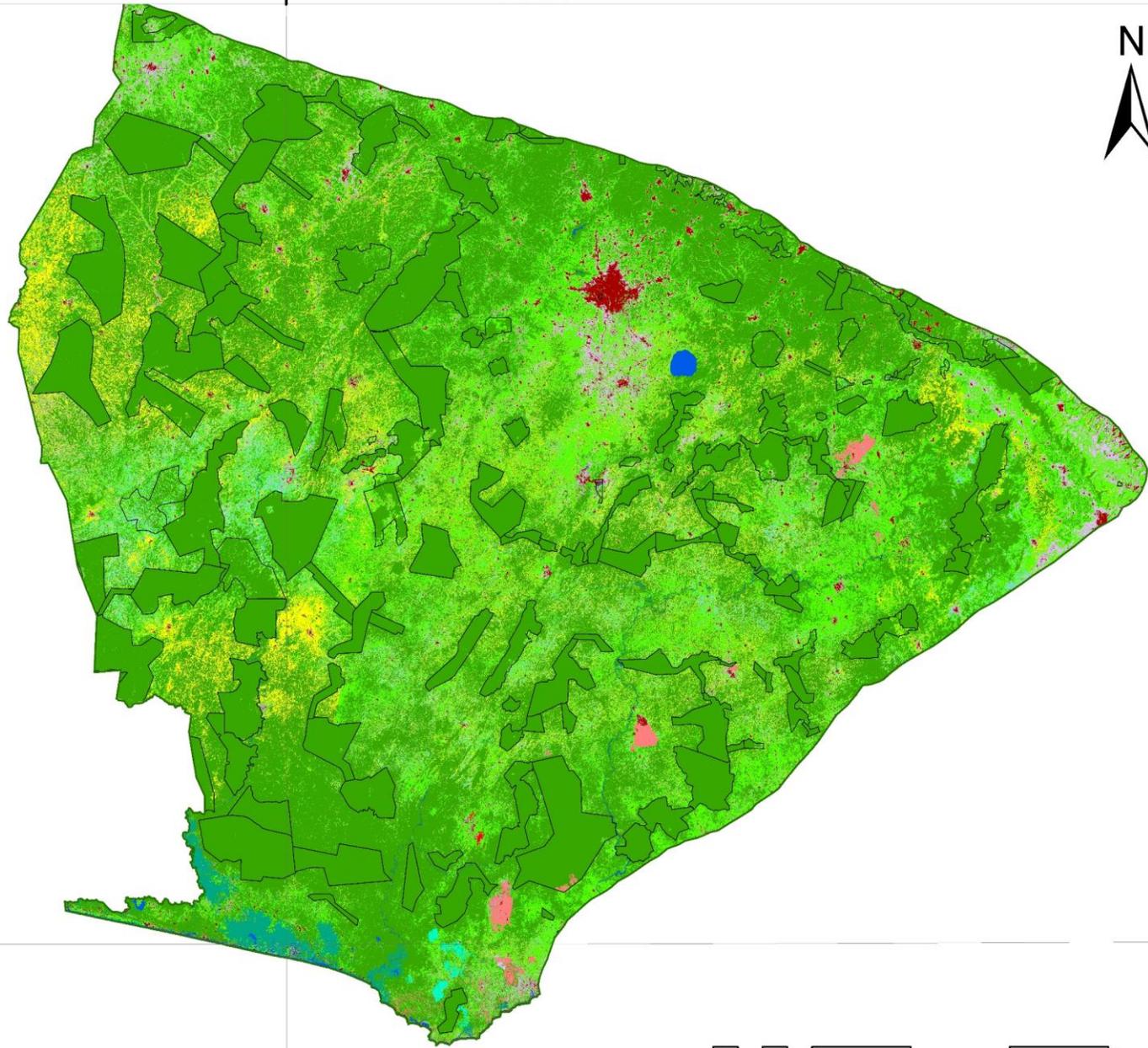
1980年のガーナの森林面積は493万haで、カカオ森林ランドスケープの85.3%を占めていた。40年後の2020年には234万haまで減少

凡例

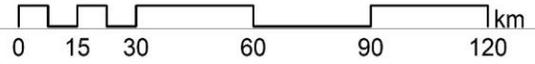
- 保護林・国立公園
- 内水面
- 市街地・裸地
- 閉鎖林
- 疎林
- カカオ農園(シェード・カカオ/日陰樹との混植)
- カカオ農園(モノカルチャー)
- マングローブ林・ヤシ林・湿地
- 低木林・休閒地
- アブラヤシ農園
- ゴム農園
- 食用農地
- 鉱区



1980



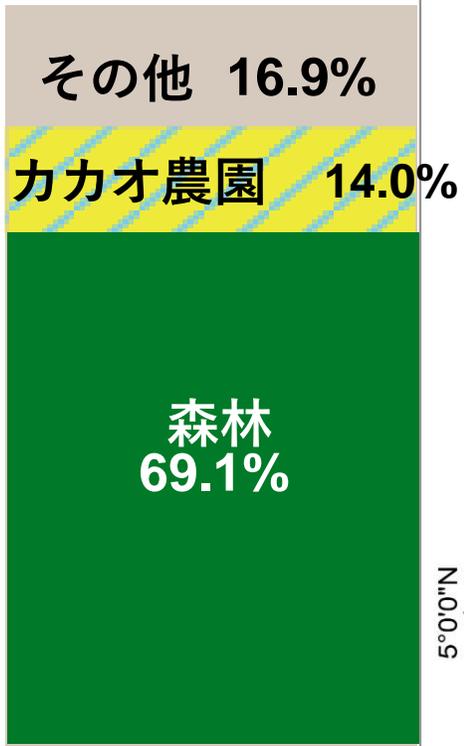
2°30'0"W



Legend

凡例

- 保護林・国立公園
- 内水面
- 市街地・裸地
- 閉鎖林
- 疎林
- カカオ農園(シェード・カカオ/日陰樹との混植)
- カカオ農園(モノカルチャー)
- マングローブ林・ヤシ林・湿地
- 低木林・休閒地
- アブラヤシ農園
- ゴム農園
- 食用農地
- 鉱区

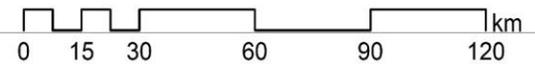


2000



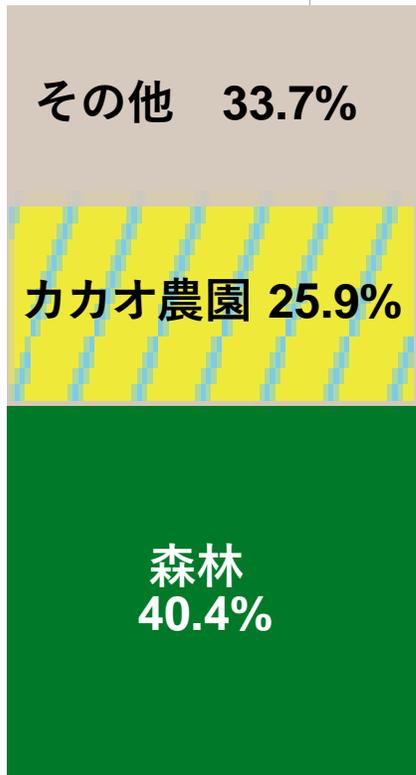
5°0'0"N

2°30'0"W

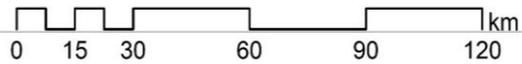
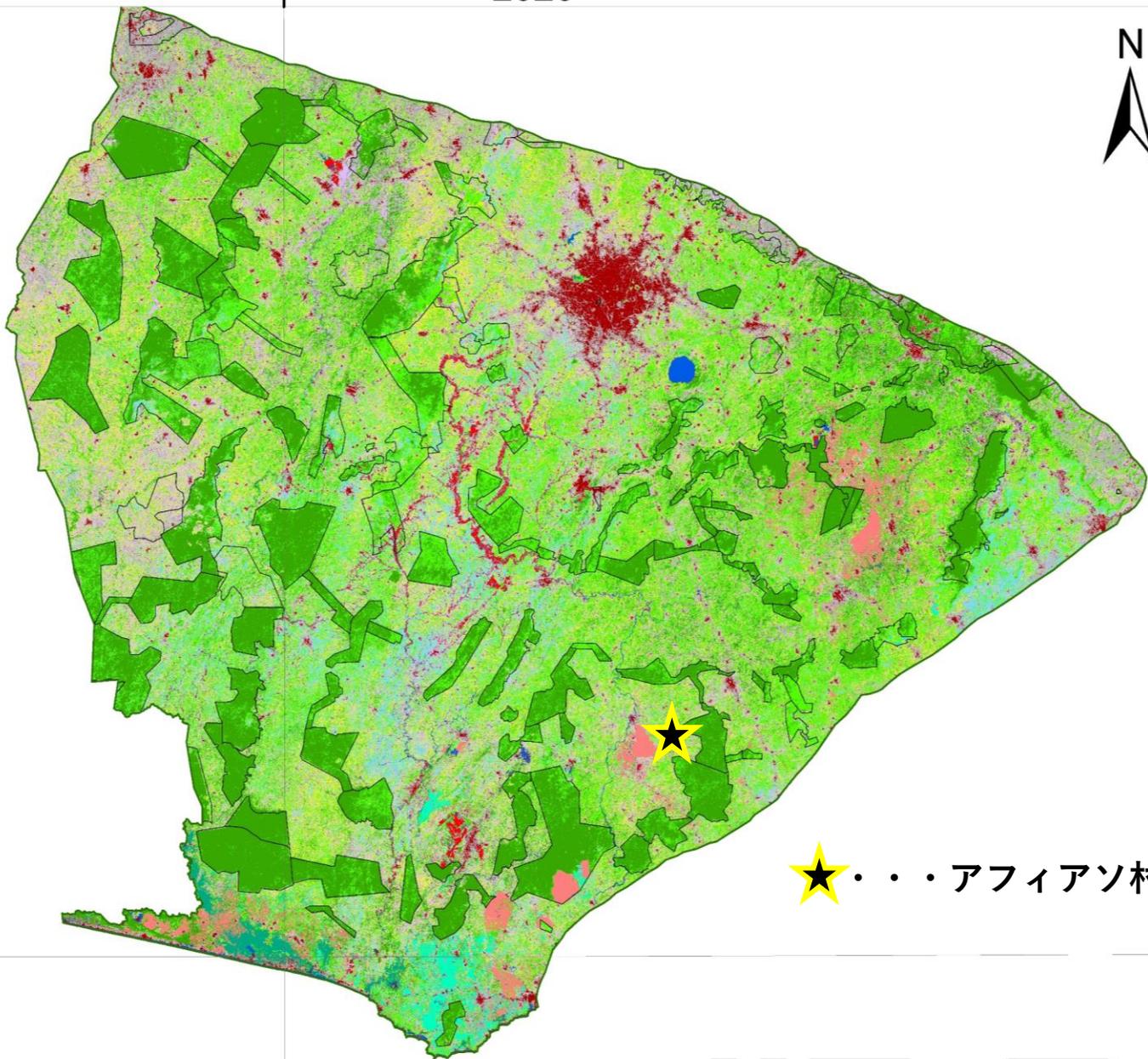


凡例

- 保護林・国立公園
- 内水面
- 市街地・裸地
- 閉鎖林
- 疎林
- カカオ農園(シェード・カカオ/日陰樹との混植)
- カカオ農園(モノカルチャー)
- マングローブ林・ヤシ林・湿地
- 低木林・休閒地
- アブラヤシ農園
- ゴム農園
- 食用農地
- 鉱区



2020



Legend

2°30'0"W

# まとめ

カカオのサステナビリティには様々な重要な要素があるが、なかでもトレーサビリティの確立と森林破壊を伴っていないことの確認は欧州では規制の対象であり、国際的には最低限の要求

- 自社のサプライチェーンに森林破壊、土地転換、人権侵害がないことを調達方針として公表する
- 上記を担保するトレーサビリティ
- 直接的および間接的なサプライヤーに対し、コミットメントを周知しサポートする
- 透明性をもって方針の進捗状況を開示する

※上記以外にも、以下生活所得や児童労働に関しても取り組む必要がある

- 生活所得を達成する方法に関する期限付きかつ測定可能なロードマップの作成
- サプライチェーン全体をカバーする児童労働監視・是正システムの設計・実施

カカオの調達改善についてのお悩み・ご質問・ご相談は、お気軽にお問合せください!

WWFジャパン森林グループ：[forest@wwf.or.jp](mailto:forest@wwf.or.jp)

together possible™



本資料の著作権はWWFジャパンもしくは引用元の組織等にあります。  
事前の許可なく複写・改変等はお控えいただきますようお願い申し上げます。



ご参加ありがとうございました

- zoom退出時にアンケートが表示されます。お時間ありましたらぜひご協力ください
- 調査レポートをご希望の方は、アンケートの一番最後に案内がありますので、合わせてご確認ください（レポートの